

U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

米国 2 ヶ月連続で過去最大を更新した貿易赤字 (04年11月) 発表日: 05年1月12日 (水)
 ~初めて600億ドルの大台に~ (No. UI - 144)

第一生命経済研究所 経済調査部
 桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001、4518: seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出		輸入			
	Balance	財 Goods	サービス Services	財 Exports	サービス Services	財 Imports	サービス Services	財 Goods	
03/11	399.95	447.43	+47.48	+2.3	(+8.7)	+3.1	+0.4	(+6.2)	+0.4
03/12	440.10	485.22	+45.12	0.1	(+10.8)	0.7	+3.0	(+7.8)	+3.1
04/01	457.68	495.92	+38.24	1.6	(+8.0)	1.5	+0.2	(+8.9)	+0.1
04/02	457.85	497.71	+39.86	+4.1	(+11.4)	+5.3	+2.7	(+12.0)	+3.1
04/03	470.52	514.05	+43.53	+3.2	(+14.5)	+3.6	+3.1	(+12.2)	+3.5
04/04	484.33	529.88	+45.55	1.0	(+16.0)	2.0	+0.3	(+15.3)	+0.2
04/05	473.10	514.74	+41.64	+2.7	(+17.2)	+4.2	+1.0	(+16.8)	+1.0
04/06	553.41	591.18	+37.77	4.0	(+9.9)	5.8	+2.9	(+19.0)	+3.0
04/07	505.56	547.62	+42.06	+3.2	(+12.0)	+4.3	1.2	(+15.8)	1.3
04/08	538.61	569.84	+31.23	+0.4	(+14.4)	+0.8	+2.5	(+20.8)	+2.3
04/09	509.25	549.85	+40.60	+1.3	(+13.4)	+1.7	1.1	(+16.6)	0.7
04/10	560.04	601.14	+41.10	+0.3	(+11.0)	+0.1	+3.6	(+18.7)	+4.2
04/11	602.97	641.29	+38.32	2.3	(+6.0)	3.8	+1.3	(+19.8)	+1.1

(注1) 季節調整値。貿易収支の単位は億ドル。

(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

	輸出					輸入				
	原材料 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4	その他	原材料	資本財	自動車	消費財	その他
04/04	2.3	2.3	2.3	1.2	0.8	+0.3	3.0	+2.0	+0.3	+1.4
04/05	+4.1	+6.2	+6.1	+1.3	0.6	+1.0	+3.4	+0.9	+2.3	1.9
04/06	5.6	7.2	8.2	3.6	1.1	+3.1	+9.8	+4.7	3.7	0.3
04/07	+3.8	+7.4	+5.2	+8.4	2.2	1.3	3.4	0.6	+2.3	1.5
04/08	+0.9	1.8	0.1	+3.2	+4.1	+2.3	+8.0	0.4	+0.5	0.4
04/09	+1.9	+2.6	+1.0	1.2	+2.6	0.7	3.0	+1.6	+1.3	0.2
04/10	0.1	+2.9	+0.1	0.8	+0.0	+4.1	+8.3	+1.0	0.4	+5.5
04/11	3.8	4.4	5.1	4.6	2.6	+1.1	+3.2	0.4	2.3	+1.1

(注) 季節調整前月比伸び率。

*1: Industrial supplies and materials

*2: Capital goods, except automotives

*3: Automotives vehicles, parts and engines

*4: Consumer goods, except automotives

	輸出						輸入					
	カナダ	中南米	E U	太平洋工業国	日本	その他	カナダ	中南米	E U	太平洋工業国	日本	その他
04/04	+14.5	+9.3	+20.0	+14.2	+16.2	+6.5	+14.5	+17.3	+11.4	+18.7	+14.1	+7.9
04/05	+16.2	+7.4	+17.9	+17.3	+19.8	4.8	+15.6	+13.0	+15.6	+12.8	+17.4	+8.3
04/06	+10.9	+9.6	+14.6	+6.0	+9.5	+7.5	+22.4	+23.9	+24.9	+14.3	+23.8	+13.0
04/07	+12.0	+14.9	+12.0	+10.6	+8.7	+8.5	+14.4	+15.4	+13.5	+5.9	+17.2	+9.0
04/08	+15.3	+23.6	+18.3	+11.0	+9.5	0.4	+24.7	+25.4	+19.6	+19.9	+23.8	+17.9
04/09	+15.7	+14.8	+14.5	+14.9	+16.8	+7.0	+16.6	+13.1	+21.5	+7.1	+18.7	+11.7
04/10	+11.0	+9.1	+10.4	+10.4	+9.6	+20.3	+15.5	+12.7	+18.8	+6.9	+11.4	+3.2
04/11	+5.9	+5.5	+15.0	+4.1	2.6	5.2	+26.3	+21.8	+26.4	+15.8	+24.0	+13.2

(注1) 未季調前年比伸び率。

(注2) 中南米はメキシコを含む(原統計の「中南米」は含まない)。

602.97億ドルと過去最大の赤字額

11月の米国の貿易収支(サービスを含む国際収支ベース、季節調整済)は、602.97億ドルの赤字(前月比+7.7%)と、市場コンセンサスの540億ドルへの縮小に反し、過去最大の赤字額となった。サービス収支の黒字額が縮小し、財収支の赤字額が過去最大となった。貿易相手国の成長率鈍化に加え、民間航空機・同部品や、自動車の減少を主因に輸出が同2.3%と5ヵ月ぶりの減少となった。一方で、堅調な需要を映じた消費財や、原油価格の上昇による原油の輸入増を背景に輸入が前月比+1.3%と増加したことから、貿易赤字額は前月から増加した。原油価格上昇

の影響により初めて600億ドル台の赤字となったが、原油以外の輸入も高水準で推移しており、現状の貿易経済構造では貿易赤字の根本的な削減が難しいと考えられる。

為替の調整に頼った貿易赤字削減を目指せば一段のドル下落懸念が強まるリスク

貿易赤字を大幅に縮小させるためには、輸入が減少するか、輸出が大幅に増加する必要がある。しかし、輸入を減少させる場合では、国内の消費を抑制しなければならず雇用の拡大ペースが鈍化、或いは減少し、景気後退に陥るリスクがある。このため、輸入が増加するなかで輸出が大幅に拡大する必要がある。この方法としては、相手国の輸入障壁の撤廃、米国の輸入の所得弾性値が貿易相手国よりも高く、上昇トレンドにあることから輸出先の米国を上回る高い成長、ドル安がある。これまで、米国では、¹⁾によって輸出拡大を目指していたものの、貿易相手国の輸入障壁は簡単にはなくならず、貿易相手国の金融財政政策が米国ほどの柔軟性に欠けるため高い成長も期待できない。このような状況のもと、実質ドル実効レートが下落した。しかし、輸出弾性値は価格よりも所得要因のほうが大きく、為替の調整に頼った貿易赤字削減を目指せば、一段のドル下落懸念が強まるリスクがある。

対中国貿易赤字はさらに拡大し過去最大を更新

地域別の収支では、対中国が166億ドルと11ヵ月連続で最大の赤字国となった(貿易赤字全体の25.3%)。対欧州はユーロ高にもかかわらず105億ドルまで拡大し、欧州景気を下支えしている。対欧州では、米欧金利差の拡大が続くものの緩やかなペースが予想されることや、対欧州での貿易赤字が高水準で高止まりしていることから、ユーロは対ドルでしっかりした展開が予想される。対カナダが73億ドル(前月57億ドル)と過去最大となった。その他の地域でも、対日は73億ドル(前月59億ドル)、対OPECが69億ドル(前月72億ドル)と高止まりしている。

輸入では、価格上昇を映じた原材料と堅調な消費を背景とした消費財が増加

通関ベースでは、自動車、消費財、資本財、原材料の全てで減少したため、輸出は2ヵ月連続の減少となった。一方、輸入は原油等原材料、消費財の増加によって前月比+1.1%と2ヵ月連続で増加した。

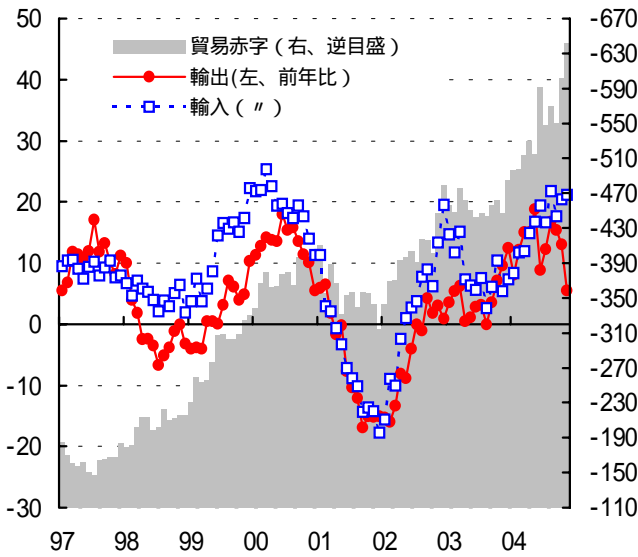
輸入の商品別の内訳では、天然ガス、化学等が減少したものの、原油、液化天然ガス等の輸入が増加したため産業資材が前月比+3.2%と2ヵ月連続の増加となった。特に原油は、同+17.7%と急増した。堅調な消費動向を映じて消費財は家庭用品、玩具・ゲーム・スポーツ用品、iPodなど音響機器が増加したため同+1.1%と2ヵ月連続で増加した。一方、自動車を除く資本財輸入は、航空機・同エンジン、半導体、コンピューター等の減少により同-0.4%と3ヵ月ぶりの減少となった。自動車が同-2.3%と2ヵ月連続で減少した。

輸出は全般的に減少

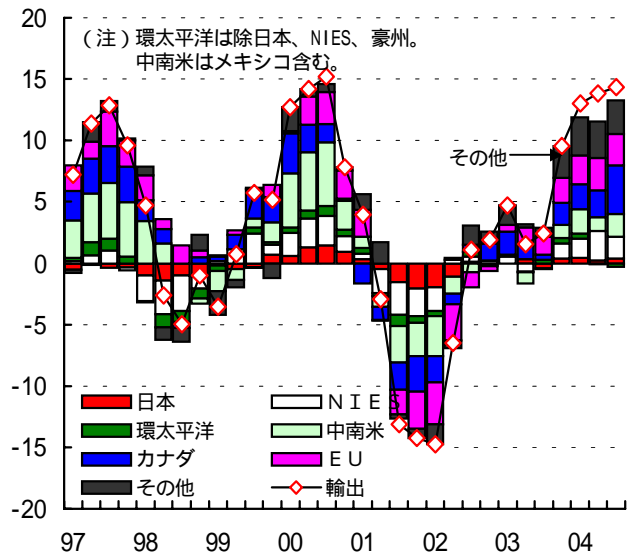
輸出の商品別の内訳では、減少額の大きい順にみると、掘削機・油田設備、民間航空機・同部品や、通信機器、通信設備、計測・検査・制御装置等が減少したため資本財輸出は前月比-5.1%と3ヵ月ぶりの減少となった。天然ガス、燃料オイル、綿、化学製品、他の産業資材等の減少によって産業資材が同-4.4%と3ヵ月ぶりに減少した。自動車が同-4.6%と3ヵ月連続の減少、骨董品が増加したものの、家庭用品、家財道具、タバコ、書籍等の減少によって消費財が同-2.6%と3ヵ月ぶりの減少となった。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

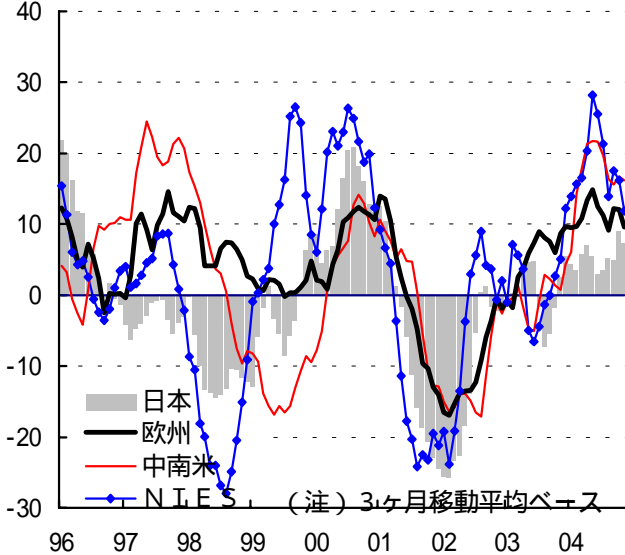
(%) 米国貿易動向(財、BOPベース)(億ドル)



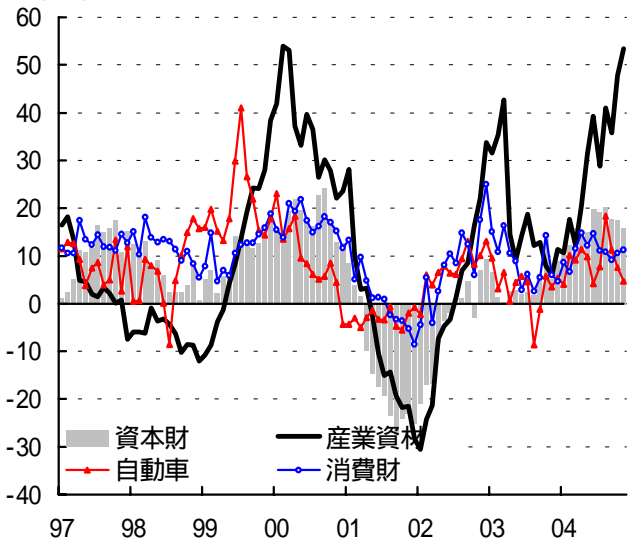
(%) 通関輸出地域別寄与度(前年比)の推移



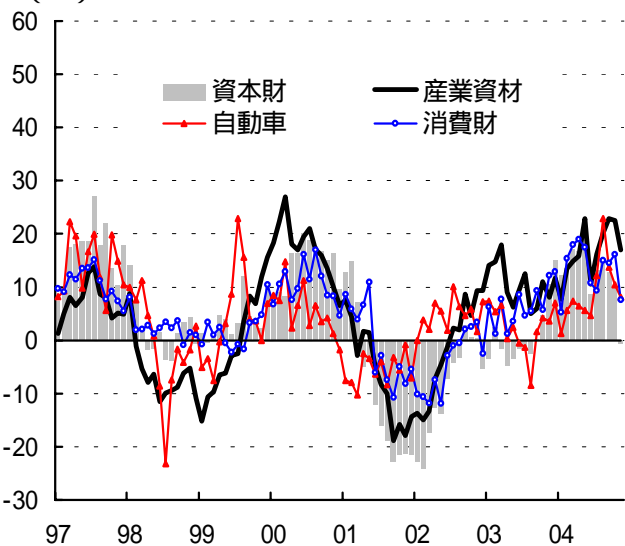
(%) 地域別輸出(前年比)



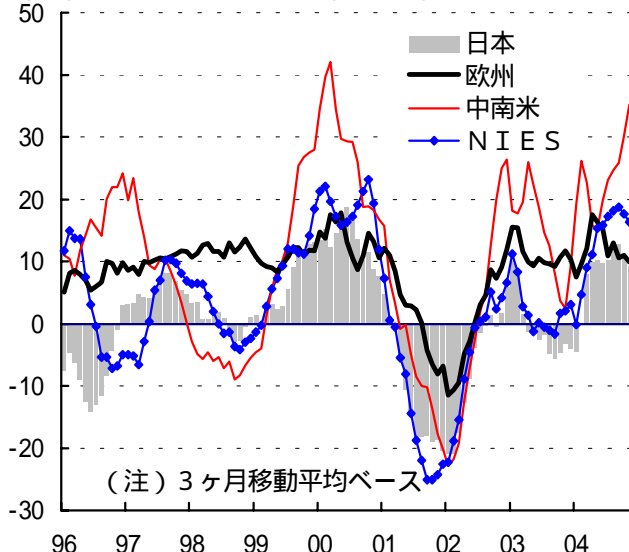
(%) 財別輸入の推移(前年比)



(%) 財別輸出の推移(前年比)



(%) 地域別輸入(前年比)



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。